

## 小黒川スマートインターチェンジ地区協議会

### 設立趣意書

伊那市は、長野県の南部に位置し、南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ、市の中央部を天竜川と三峰川が流れる豊かな自然と歴史・文化が育まれた自然共生都市です。しかし、東海地震による大きな被害が想定されることから、地震防災対策強化地域に指定され、大規模災害時の迅速な救護活動・物資輸送手段の確保が急がれています。

また、小黒原産業適地、鳥居沢工業団地、上ノ原工業団地等を整備し企業誘致も積極的に進めていますが、誘致において高速道路との良好なアクセスが望まれています。

さらに春の観光シーズンには、伊那インターチェンジ周辺道路の渋滞が顕著となり、交通の分散を図る必要もあります。

本、スマートインターチェンジ設置は、高速道路とのアクセス性、利便性等の向上により大規模災害時の迅速な対応、地域産業の活性化、観光振興の促進等に大きく寄与するものと期待します。

このため、国土交通省、長野県、長野県警察本部、中日本高速道路株式会社等関係機関と連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な検討、調整を行い、供用後も継続して、社会便益、安全性、採算性、管理・運営方法等を定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す場として、「小黒川スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

平成 25 年 12 月 19 日

伊那市長 白 鳥 孝